

決算特別委員会資料

I	令和5年度 一般会計決算（環境局所管分）について	
1	歳入決算額	2 P
2	歳出決算額	3 P
II	指定管理者の評価結果（環境局所管分）について.....	4 P
III	参考 主要事業の成果	5 P



環境局

I 令和5年度 一般会計決算（環境局所管分）について

1 歳入決算額

(単位：円)

款	項	目	節	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	
16	1	3	1 環境費負担金	1,800,000	0	0	0	0	
17	1	4	1 環境使用料	2,145,000	2,393,923	2,393,923	0	0	
		2	4	1 環境手数料	3,508,165,000	3,317,014,449	3,297,764,486	14,175,910	5,074,053
				産業廃棄物収集運搬業許可申請等手数料	28,103,000	11,114,000	11,114,000	0	0
				ごみ処理手数料	3,430,773,000	3,248,337,427	3,234,442,748	13,696,400	198,279
				し尿処理手数料	49,289,000	57,563,022	52,207,738	479,510	4,875,774
18	2	4	1 環境費補助金（国）	4,241,959,000	3,394,882,972	3,394,882,972	0	0	
		3	4	1 環境費委託金（国）	30,303,000	27,057,208	27,057,208	0	0
19	2	4	1 環境費補助金（県）	11,494,000	12,400,000	12,400,000	0	0	
		3	4	1 環境費委託金（県）	391,000	594,000	594,000	0	0
20	1	1	1 土地貸付収入	21,573,000	21,980,077	21,980,077	0	0	
			2 建物貸付収入	9,267,000	9,649,763	9,649,763	0	0	
		3	1 基金運用収入	53,000	5,210	5,210	0	0	
		6	1 施設命名権収入	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	
21	1	3	1 環境費寄附金	69,400,000	11,062,103	11,062,103	0	0	
22	1	3	1 市民太陽光発電所特別会計繰入金	5,000,000	0	0	0	0	
		2	4	1 環境保全基金繰入金	40,711,000	34,393,356	34,393,356	0	0
		17	1	SDGs未来基金繰入金	59,200,000	0	0	0	0
24	1	1	3 環境費延滞金	10,000	136,500	9,400	127,100	0	
		3	4	1 環境産業融資貸付金元利収入	486,000,000	37,000	37,000	0	0
			2	つり銭準備貸付金収入	30,000	0	0	0	0
		4	3	1 環境費受託事業収入	24,000,000	15,753,353	15,753,353	0	0
		6	4	15 環境費雑入	4,401,884,000	4,099,895,157	4,099,895,157	0	0
25	1	4	1 環境債	6,474,100,000	6,104,800,000	6,104,800,000	0	0	
歳入合計				19,388,485,000	17,053,055,071	17,033,678,008	14,303,010	5,074,053	

2 歳 出 決 算 額

(単位：円)

款 項 目	予算現額	決算額	翌年度 繰越額	不用額	前年度決算額	前年度比較
5款 環 境 費	25,586,214,000	23,025,217,457	410,371,000	2,150,625,543	16,549,537,826	6,475,679,631
5 款 1 項 1 目 職 員 費	3,219,362,000	3,087,479,457	0	131,882,543	3,138,033,093	▲ 50,553,636
5 款 2 項 費 環 境 費	22,366,852,000	19,937,738,000	410,371,000	2,018,743,000	13,411,504,733	6,526,233,267
5 款 2 項 1 目 環 境 総 務 費	588,098,000	526,429,967	0	61,668,033	531,653,680	▲ 5,223,713
5 款 2 項 2 目 環 境 保 全 費	2,530,664,000	1,067,748,970	326,371,000	1,136,544,030	1,005,097,386	62,651,584
5 款 2 項 3 目 ご み 処 理 費	4,359,703,000	4,053,302,588	84,000,000	222,400,412	3,971,352,428	81,950,160
5 款 2 項 4 目 し 尿 処 理 費	310,910,000	294,292,239	0	16,617,761	329,894,620	▲ 35,602,381
5 款 2 項 5 目 工 場 費	5,419,679,000	4,903,161,939	0	516,517,061	4,813,615,384	89,546,555
5 款 2 項 6 目 環 境 施 設 建 設 費	9,157,798,000	9,092,802,297	0	64,995,703	2,759,891,235	6,332,911,062
歳 出 合 計	25,586,214,000	23,025,217,457	410,371,000	2,150,625,543	16,549,537,826	6,475,679,631

II 指定管理者の評価結果（環境局所管分）について

指定管理者	施設名	所管課	1 施設の設置 目的の達成			2 効率性の 向上		3 公の施設に 相応しい 適正な管理運営		評価 結果 (合計 得点)
			設置 目的 達成	自転車 利用 促進	利用者 満足度	経費 削減	収入 増加	管理 運営 実施 状況	平等・ 安全・ 危機 管理	
タカミヤ・里山・エックス共同事業体 (構成団体) ・公益財団法人タカミヤ・マリバー 環境保護財団 ・NPO法人里山を考える会 ・株式会社エックス都市研究所	タカミヤ 環境ミュージアム	環境学習課	3	-	4	4	3	4	3	C (69)
響灘ピオトープ共同事業体 (構成団体) ・NPO法人北九州ピオトープ・ ネットワーク研究会 ・株式会社エコプラン研究所 ・株式会社福山コンサルタント北九州本社	北九州市 響灘ピオトープ	再生可能 エネルギー 導入推進課	3	-	4	4	3	3	3	C (67)
一般社団法人北九州エコタウンネット ワーク	北九州市 エコタウンセンター	サーキュラー エコノミー 推進課	4	-	5	3	3	4	3	B (75)

評価対象期間：平成31年4月1日～令和6年3月31日

1 市民環境力の更なる発展と市民協働による「北九州環境ブランド」の確立

○環境施策広報事業

【決算額：8,549千円 担当課：環境学習課 582-2784】

世界の環境首都を目指す取組や環境未来都市、SDGs（持続可能な開発目標）の認知度向上などのため、環境マスコットキャラクター「ていたん」を活用した環境広報・PRを継続して行った。

○市民環境力支援事業

【決算額：11,996千円 担当課：環境学習課 582-2784】

市民環境力の持続的発展を目指し、市民・NPO、事業者など地域社会を構成する各主体が、日頃の環境活動について情報発信・啓発・交流をすることによって新たな取組を生み出す、北九州エコライフステージ事業などを行った。

○環境人財育成事業

【決算額：10,862千円 担当課：環境学習課 582-2784】

市民一人ひとりが環境との関わりを理解し、より良い環境・地域づくりへの意識をもって行動を起こすことのできる環境人財を育むため、「環境首都検定」「こども環境学習」をはじめとする施策を行った。

○まち美化等啓発事業

【決算額：4,118千円 担当課：業務課 582-2180】

市民や企業、ボランティア団体等と一体となって「“クリーン北九州”まち美化キャンペーン」や「市民いっせいまち美化の日」等の啓発事業を実施することにより、環境美化に対する市民意識の向上を図り、清潔で美しいまちづくりを推進した。

2 2050年脱炭素社会の実現に向けたエネルギー施策と国際協力の推進

新充電インフラ普及促進事業

【決算額：10,737千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

市内の電動車の普及に向けて、民間向けの充電設備導入補助や、耐用年数を迎えた公共施設設置充電設備のリプレースを通じて、市内における充電インフラの整備を促進した。

新市内事業者等への“再エネ100%北九州モデル”普及推進事業

【決算額：80,000千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

“再エネ100%北九州モデル”で実施する、第三者所有方式での太陽光発電設備や省エネ機器等の導入を市内事業者等に横展開し、事業者等の脱炭素経営を通じた競争力の強化を促進した。

⑨ 離島周辺海域における洋上風力発電基礎調査

【決算額：5,558千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

洋上風力発電の導入促進を図るため、離島の周辺海域を中心に自然条件や社会条件の調査を実施した。

○水素拠点化推進事業

【決算額：24,079千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

産学官が連携した「福岡県水素拠点化推進協議会」を設立し、響灘臨海部を中心とした水素拠点形成の検討及びプロジェクト支援等を行った。

○公用車管理システム運用事業

【決算額：7,499千円 担当課：グリーン成長推進課 582-2286】

2030年度までに全ての一般公用車を電動化するにあたり、新たに令和4年度に導入した利便性の高い公用車管理システムを継続して運用するとともに、車両の一元管理・共用化と利用時間の細分化等により1台あたりの稼働率の向上を図り、車両台数の適正化を図った。

○地球温暖化対策推進事業

【決算額：4,043千円

担当課：環境学習課 582-2784、グリーン成長推進課 582-2286】

「ノーマイカー」や「再配達削減」等、地球温暖化対策に資する市民や事業所向けの啓発事業を行った。

○脱炭素社会の実現に向けた“再エネ100%北九州モデル”推進事業

【決算額：535,037千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

国から選定を受けた「脱炭素先行地域」に関する交付金等を活用し、主に公共施設等に第三者所有方式で太陽光発電設備や省エネ機器等を導入する等の“再エネ100%北九州モデル”を推進した。

○中小企業の競争力を生み出す脱炭素化推進事業

【決算額：14,858千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

脱炭素社会の実現に向け、市内中小企業を対象に、自家消費型太陽光発電設備、蓄電池、EV、充放電器及び省エネ機器の導入を支援することで、環境に配慮しつつ中小企業の競争力を高めた。

○北九州市役所環境・エネルギープロジェクト推進事業

【決算額：3,016千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

環境モデル都市としての市役所の率先垂範を実践するため、また、省エネ法及び温対法の規制へ対応するため、省エネ・節電を推進した。

○北九州市風力発電人材育成事業

【決算額：27,585千円 担当課：環境学習課 582-2784】

風力発電関連産業の総合拠点の形成に向けて、「北九州市洋上風力キャンプ」を実施し、市内外の学生等の関心を高め育成を図るとともに、「北九州市風力発電人材育成連絡会」を通じた産学官の連携による人材の育成・確保を促進した。

○脱炭素等を通じた環境国際ビジネスの推進

【決算額：16,567千円 担当課：環境国際戦略課 662-4020】

平成22年に開設したアジアカーボンニュートラルセンター（KCN）を中心に、本市がネットワークを有するアジア諸都市において、ビジネスの支援強化やビジネスにつながる国際協力事業等を推進することにより、環境国際ビジネスの拠点形成を目指した。

3 循環型社会づくりの推進

㊦蓄電池のリユース・リサイクルシステム構築事業

【決算額：4,114千円 担当課：サーキュラーエコノミー推進課 582-2630】

エコタウンを中心に、車載用蓄電池の価値の最大化を図るためのリユース・リサイクルのシステム構築を図った。

㊦プラスチック資源一括回収にかかる事業

【決算額：109,939千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

プラスチック資源のさらなる減量化・資源化を図るため、令和5年10月から「容器包装プラスチック」と「製品プラスチック」の一括回収を開始した。

○環境未来技術開発助成事業

【決算額：40,009千円 担当課：サーキュラーエコノミー推進課 582-2630】

循環型社会及び脱炭素社会の実現に向け、環境分野の課題解決に先導的な役割を果たすことを目的とし、本市への環境技術の集積や環境産業の技術力の強化を図るため、先進的かつ実現性の高い環境技術に関する研究開発を支援した。

○響灘ビオトープ運営事業

【決算額：45,685千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

市民が自然と触れ合いながら、生物多様性の重要性や生態系の仕組みを学べる魅力ある自然環境学習拠点「響灘ビオトープ」の管理運営を行った。

○生物多様性戦略推進・改訂事業

【決算額：16,580千円 担当課：再生可能エネルギー導入推進課 582-2238】

「第2次北九州市生物多様性戦略(2015年度～2024年度)」に基づき、本市の豊かな自然環境と生物多様性を保つため、市民やNPOなどの各種団体、事業者と連携して、生態系の場の維持や種の保存等に向けた取組を推進した。また今後の戦略改訂に向け、現戦略の総括及び課題整等を行った。

○不法投棄防止事業

【決算額：11,070千円 担当課：産業廃棄物対策課 582-2177】

監視パトロール、監視カメラの整備、市民通報員や関係団体との連携により、早期発見・早期撤去を進めるとともに、警察と連携して実行者へ厳しく対処し、市内の不法投棄の未然防止や拡大防止を図った。

○産業廃棄物処理推進事業

【決算額：11,290千円 担当課：産業廃棄物対策課 582-2177】

廃棄物処理法に基づき、産業廃棄物処理に関する許可審査・届出受付を行うとともに、排出事業者・処理業者に対する立入検査等を通じて法令遵守の徹底を図った。また、排出・処理動向の分析・公表、優れた排出事業者・処理業者の認定表彰や講習会の開催等による普及啓発により、市内の産業廃棄物の適正処理・3Rを推進した。

○地域拠点を活用したリサイクル推進事業

【決算額：151,000千円 担当課：循環社会推進課 582-2187】

市民センターを活用した充電式電池、廃食用油等の資源回収や、地域団体による古紙・古着回収などの環境活動を支援した。

4 将来世代を考えた安全・安心でレジリエント(強靱)なまちづくり

㊦北九州市の「環境ビフォーアフター」発信事業

【決算額：2,844千円 担当課：環境監視課 582-2290】

公害克服による街並みの変化や廃棄物処分場跡地での豊かな自然環境の創出等、象徴的な市内の環境の変化をパネル展示や小冊子の製作などを通じて広く発信し、シビックプライドの醸成を図った。

○環境対策事業

【決算額：47,126千円 担当課：環境監視課 582-2290】

環境法令に基づき、大気汚染や水質汚濁、騒音・振動の監視測定などを行い、環境質の現状を把握し、維持・向上に努めた。また、市内企業を対象に測定結果や環境法令の概要、不適正事案の防止策等に関するセミナーを実施し、環境保全を一層促進した。

○工場・事業場監視事業

【決算額：17,477千円 担当課：環境監視課 582-2290】

市内の工場・事業場に対し、大気汚染防止法・水質汚濁防止法等に基づいて、立入検査及び排ガス・排水中の規制項目に関する測定を実施し、事業者の環境法令の遵守状況を監視するとともに、環境管理の取組の促進を図った。また、市民からの公害関係苦情・要望を受け、発生源に対する指導を行った。

○大気汚染常時監視にかかる事業

【決算額：54,442千円 担当課：環境監視課 582-2290】

市民の快適で健康な生活環境を維持するため、公害監視センターを中心とした市内18か所の測定局を維持・管理して、光化学オキシダントやPM_{2.5}などの大気の状態の常時監視を行った。